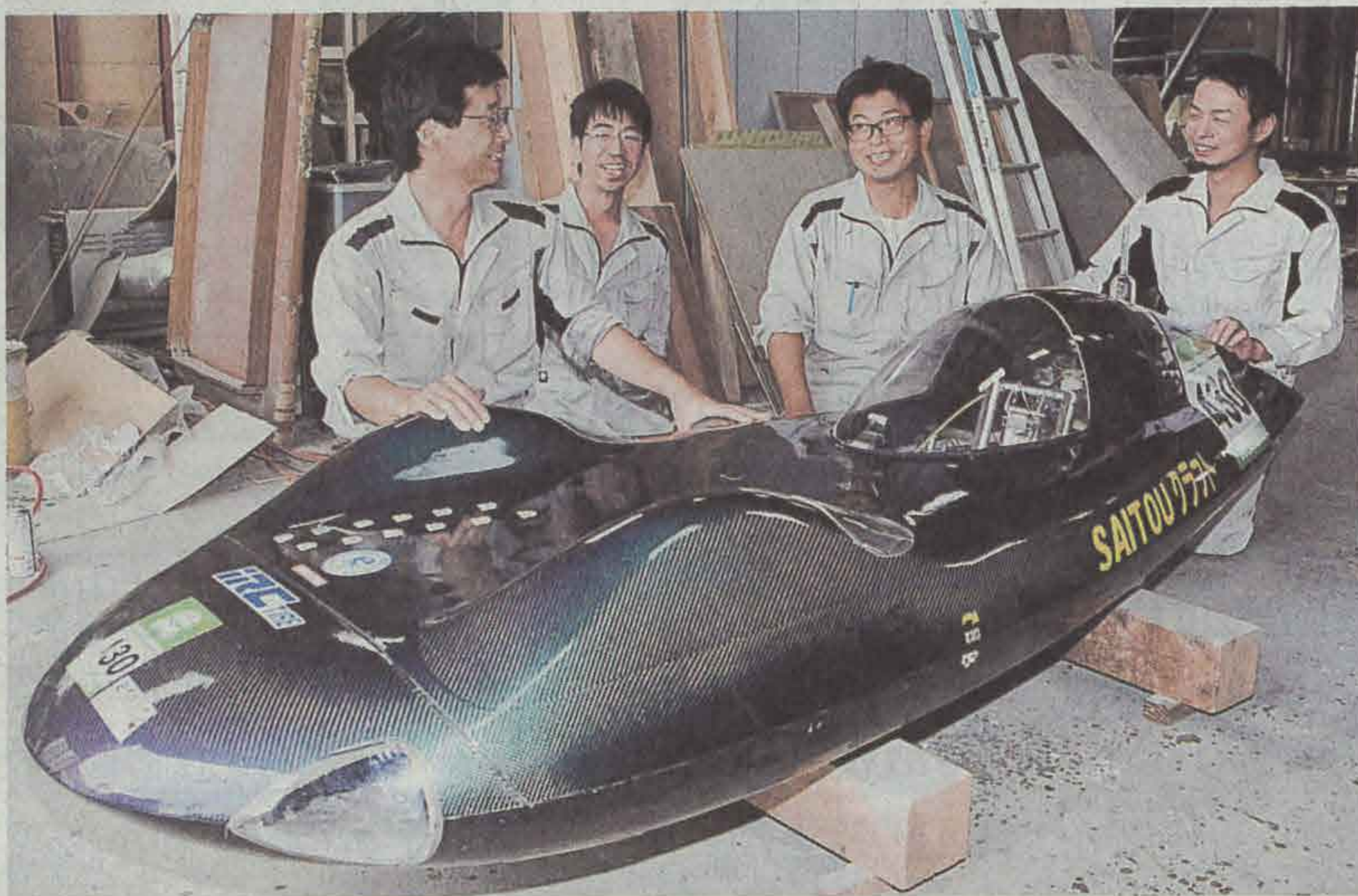


車、実験マネキン…幅広く

新分野挑戦「斉藤クラフト」

山形



板金塗装や電気自動車製

造を手掛ける斉藤クラフト

(山形県中山町、斉藤秀雄社長)。培った自動車分野の技術を生かし、スキーの競技力向上に向けた実験用マネキンの製作など、新たな分野でビジネスチャンスを広げている。

平成四年に創業し、現在の従業員は三人。小規模ながらも本業以外にカーボンファイバー(炭素繊維)製の扇子などさまざまな製品開発を請け負い、近年は山形大学や筑波大学から実験用具も受注する。

勢を再現できるマネキン。最適なウェアや姿勢を探る風洞実験に使用されている。

電気自動車のボディに使う繊維強化プラスチック製で肩や股関節など十四カ所が動く。完成度は高く、アルペンスキーなど他競技のマネキンの注文にもつながっている。

毎年、省エネカーレースに参戦し、本業のレベルアップも欠かさない。昨年、ガソリン一リットル当たりの走行距離を競う全国大会の一般クラスで一七九三・八一二キロを記録し、過去最高の四位に輝いた。

例えば二十五年に開発した、スキー・ジャンプの飛び出しから着地までの姿

斉藤社長は「今後も本業を大事にしながら新分野に挑戦したい」と力を込めている。

(山形新聞)